令和８年 10 月２日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…グループホーム遊空間

会議開催日…令和８年９月 29 日

開催場所…グループホーム遊空間

出席者

事業所	２人	利用者	人
利用者家族	人	地域代表者	１人
松江市職員	人	包括支援センター	１人
知見を有する者	人	その他（　　）	人

議　題

＜利用者状況＞

１階　入居者数：９名（女性８名・男性１名）

要介護度：要介 1／2 名・要介 2／4 名・要介 3／1 名・要介 4／2 名・要介 5／0 名

平均要介護度　：2.3

平均年齢：89.1 歳　最高齢歳：95 歳

※女性の方が退所され、新しく女性の方が入所されました。

２階　入居者数：９名（女性８名・男性１名）

要介護度：要介 1／0 名・要介 2／2 名・要介 3／6 名・要介 4／1 名・要介 5／0 名

平均要介護度　：2.9

平均年齢：86.9 歳　最高齢歳：98 歳

＜職員状況＞

１階:介護スタッフ男性３名・女性 10 名

２階:介護スタッフ男性２名・女性７名

＜行事報告・予定＞

８月行事　　テーブルボーリング・カラオケ大会　お楽しみ昼食

９月行事　　敬老会

10 月行事予定　ミニ運動会　お楽しみ会

中学生職場体験

健康診断　インフルエンザ予防接種

＜委員会活動について＞

身体拘束廃止推進委員会　　虐待防止検討委員会

・各委員が作成した事例内容をもとに研修を行った
・チェックリストを作成したので活用し、今後も身体拘束や虐待が起こらないようにしていく
・啓発用ポスターは現在作成中

※身体拘束廃止推進委員会と虐待防止検討委員会の会議を一体的に行っています。

安全管理委員会

・遊空間で起こるかもしれない事故を想定し、どのような対応をしたらいいのか話し合った
・ヒヤリハット、事故報告書の検証を行った

感染症対策委員会

・食中毒を起こさないために注意喚起を行った
食中毒予防の三原則（つけない！増やさない！やっつける！）の徹底

※安全管理委員会と感染症対策委員会の会議を一体的に行っています。

＜研修・訓練状況＞

8 月 9 月に行った研修

・高齢者虐待防止研修　　・身体拘束排除に関する研修
・消防訓練

10 月 11 月に行う予定の研修

・尊厳、プライバシー保護に関する取り組み研修
・OJT、OFF－JT の理解　　・倫理及び法令遵守に関する研修
・ハラスメント防止　　・苦情処理

＜事故、ヒヤリハットの状況＞

8 月 9 月の状況

ヒヤリハットは毎日どんな小さなことでも書くようにしている。

事故報告

擦り傷　１件　　転倒　２件　　落薬　１件

＜消防訓練＞

地震発生後の火災を想定し訓練を行った。

＜BCP 訓練＞
地震、火災発生後の連絡体制の確認
備蓄品確認

＜意見交換＞
消防訓練をみて感想、意見
　地域～１Ｆの様子をみて
　　・窓のそばにテレビや家具があるが、地震が起きたらそれが倒れるのではないか
　　食器棚も皿が落ちてくる可能性ある　ガラスが割れるかもしれない
　　平常時から固定するなどの対策が必要
　　・避難時玄関が狭いと感じた
　　・エレベーターも中を確認した方が良いのでは
　　・震度６くらいになったら驚いて、歩いて避難は難しいかもしれない
　　負ぶって避難するくらいが現実的では
　　・外から取り出せる場所に着替え等があったら良いかもしれない
　　・傷薬の準備も必要
　　・遊空間は自治会に加入しているから、自治会会長にも連絡が必要になる
　中央～２Ｆの様子を見て
　　・効率的な誘導をする方法を考えておく必要がある
　　・２Ｆは物が落ちるような棚がなくて良い　テレビも固定してあって良い
　　・ここのスタッフだけで避難するのは難しい　協力してくれるところが必要

遊空間の備蓄品をみて感想、意見
　地域～・備蓄品はいろいろあっていいけど、保管場所の検討が必要
　中央～・備蓄品をそろえ、管理するのも大変

※事業所確認欄

□活動報告についての評価を受けることができたか。	できた
□要望・助言等受ける機会を設けたか。	設けた